

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 6 月 24 日(2024.6.24)

【公開番号】特開 2023-6771(P2023-6771A)
【公開日】令和 5 年 1 月 18 日(2023.1.18)
【年通号数】公開公報(特許)2023-010
【出願番号】特願 2021-109537(P2021-109537)
【国際特許分類】

G 0 3 B 17/18(2021.01)

10

A 6 1 B 3/113(2006.01)

G 0 3 B 15/00(2021.01)

G 0 3 B 13/36(2021.01)

G 0 6 F 3/0346(2013.01)

【F I】

G 0 3 B 17/18 Z

A 6 1 B 3/113

G 0 3 B 15/00 Q

G 0 3 B 15/00 F

G 0 3 B 13/36

20

G 0 6 F 3/0346 4 2 3

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 6 月 12 日(2024.6.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

30

【請求項 1】

観察者が注視する位置に対応する情報を取得する取得手段と、
当該位置に対応する指標を表示手段に表示させるよう制御する制御手段と、を有し、
前記制御手段は、前記位置の変化が第 1 の閾値よりも小さいことが連続して第 1 の回数
あった場合には、前記指標の表示位置を変化させないことを特徴とする制御装置。

【請求項 2】

前記制御手段は、前記位置の変化が第 2 の閾値よりも大きいことが連続して第 2 の回数
あった場合には、前記指標の表示位置を変化させることを特徴とする請求項 1 に記載の制
御装置。

【請求項 3】

40

前記位置の変化が所定の方向に連続した場合には、前記指標の表示位置を変化させるこ
とを特徴とする請求項 2 に記載の制御装置。

【請求項 4】

前記位置の変化が所定の方向に連続した場合は、所定の方向に相当する範囲内での変化
が少なくとも 2 回あった場合であることを特徴とする、請求項 3 に記載の制御装置。

【請求項 5】

被写体の位置を検出する被写体検出手段をさらに有し、前記位置と当該被写体の位置と
が略一致する場合には、前記指標の表示位置を変化させないことを特徴とする、請求項 1
乃至 4 のいずれか 1 項に記載の制御装置。

【請求項 6】

50

被写体の位置を検出する被写体検出手段をさらに有し、前記位置と当該被写体の位置とが略一致する場合には、前記指標を表示させないことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の制御装置。

【請求項 7】

前記第 1 の判定回数、前記第 1 の閾値、前記第 2 の判定回数、および前記第 2 の閾値のうち少なくとも 1 つを、水平位置の変化量、垂直位置の変化量、2 点間位置の変化量のうち少なくとも 1 つに応じて変化することを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の制御装置。

【請求項 8】

フォーカスレンズを駆動させる第 1 の駆動手段と、フォーカスレンズの駆動を繰り返し実施する第 2 の駆動手段と、をさらに有し、

前記第 2 の駆動手段が選択されている場合には、前記第 1 の駆動手段が選択されている場合と比べて、前記第 1 の閾値と前記第 2 の閾値とが小さいこと、を特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の制御装置。

【請求項 9】

前記第 2 の駆動手段が選択されている場合には、前記第 1 の駆動手段が選択されている場合と比較して、前記第 1 の判定回数と前記第 2 の判定回数とが少ないことを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の制御装置。

【請求項 10】

観察者が注視する位置に対応する情報を取得する取得ステップと、

当該位置に対応する指標を表示手段に表示させるよう制御する制御ステップと、を有し

、
前記制御ステップでは、前記位置の変化が第 1 の閾値よりも小さいことが連続して第 1 の回数あった場合には、前記指標の表示位置を変化させないことを特徴とする制御装置の制御方法。

【請求項 11】

コンピュータに請求項 10 に記載の制御装置の制御方法を実行させるためのプログラム。

【請求項 12】

コンピュータに請求項 10 に記載の制御装置の制御方法を実行させるためのプログラムを記録したコンピュータが読み取り可能な記憶媒体。

10

20

30

40

50